

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

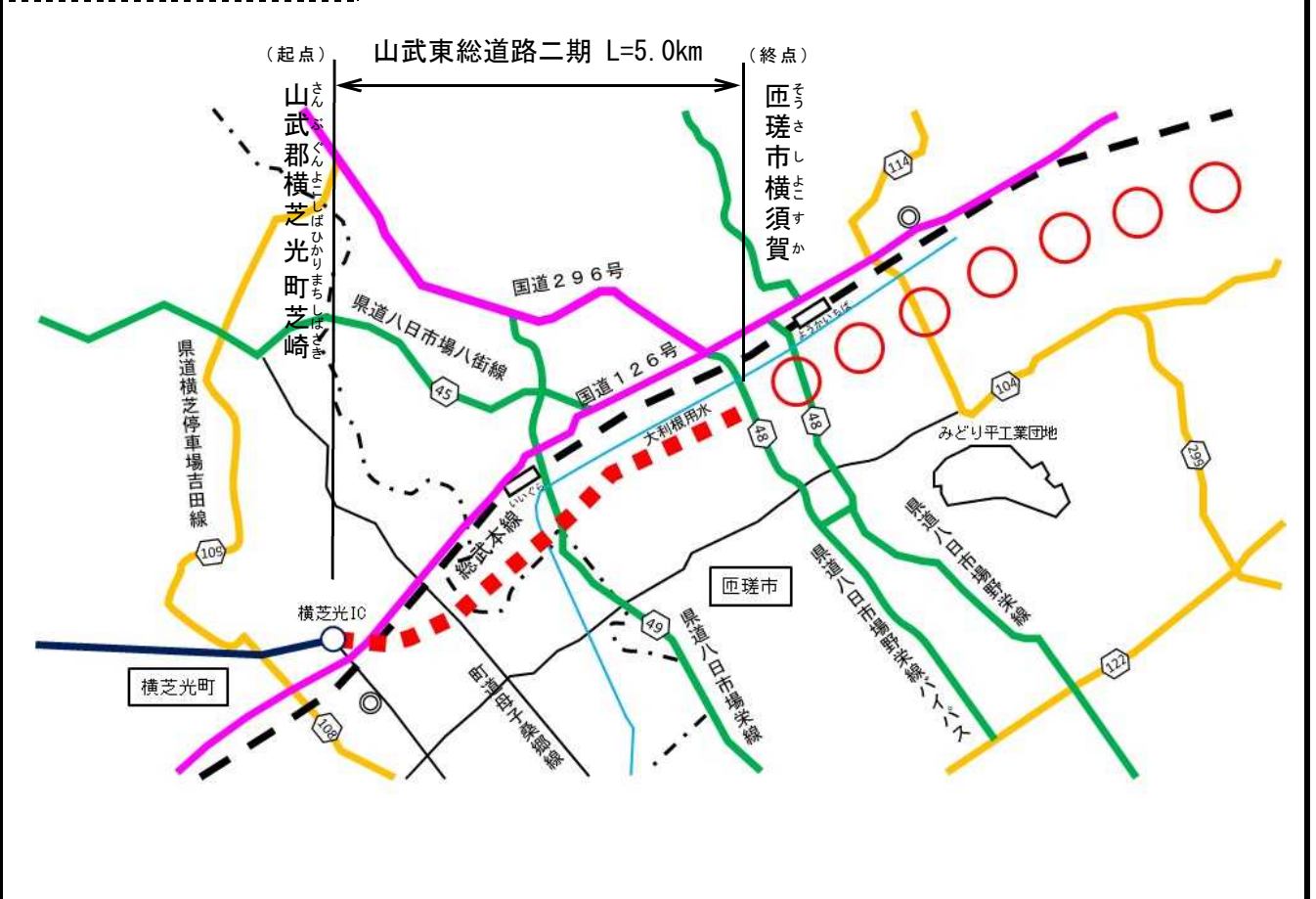
事業名	地域高規格道路 銚子連絡道路 一般国道126号 山武東総道路二期	事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県山武郡横芝光町芝崎 至：千葉県匝瑳市横須賀	延長	5.0 km		
事業概要					
<p>銚子連絡道路は、山武市松尾町から銚子市に至る延長約30kmの地域高規格道路である。</p> <p>「山武東総道路二期」は、銚子連絡道路の一部を構成し、一般国道126号の交通混雑の緩和などを目的としたバイパス事業である。</p>					
H16年度事業化		H19年度都市計画決定		H22年度用地着手	
				H24年度工事着手	
全体事業費		約100億円		事業進捗率	
				29%	
				供用済延長	
				0 km	
計画交通量		10,400～13,800台/日			
費用対効果分析結果	B/C	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)	
	(事業全体) 1.4	61/90億円		123/123億円	
	(残事業) 2.0	事業費：57/86億円 維持管理費：3.9/3.9億円		走行時間短縮便益：111/111億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：0.86/0.86億円	
感度分析の結果					
<p>【事業全体】交通量：B/C=1.2～1.5(交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=1.8～2.2(交通量 ±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.3～1.5(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.8～2.3(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.3～1.5(事業期間 ±20%) 事業期間：B/C=1.9～2.2(事業期間 ±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕に多く発生する国道126号の渋滞緩和と交通事故の減少による安全性の向上が期待される。 ・第3次救急医療施設(国保旭中央病院)への搬送時間が短縮し、地域医療サービスの向上が期待される。 ・水揚げ量全国1位の銚子漁港や、農業算出額県内1位の旭市などから首都圏の市場へ新鮮な農水産物の安定供給が可能となり、物流の効率化が期待される。 ・緊急輸送道路の1次路線や津波被害時の道路啓開候補路線に選定されている国道126号の代替路となり、地域の防災機能の強化が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
山武東総道路二期がその一部を構成する銚子連絡道路は山武・東総地域の魅力ある発展への寄与が期待され、旭市をはじめとする6市3町の首長及び議会議長で構成される「山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会」より早期整備の要望(平成28年10月28日)を受けている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業の継続を承認する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
平成18年3月に銚子連絡道路の一期区間となる松尾横芝IC～横芝光IC間約6.1kmが開通。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
平成16年度に事業化され、用地進捗率50%、事業進捗率29%となっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地の取得は50%完了。引き続き全線2車線完成に向けた事業促進を図る。					
施設の構造や工法の変更等					
道路構造を平面構造(主要交差点立体化、沿道アクセス集約)から高盛土構造(アクセスコントロール)へ変更。軟弱地盤対策の工法を見直すなどのコスト縮減を図った。					

対応方針

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び関係する地方公共団体等の意見、公共事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。